

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名 株式会社 サンユウ
 コード番号 5697 URL <http://www.sanyu-cfs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内浦宅蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 西村圭二
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大

TEL 072-858-1251

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,290	—	605	—	629	—	328	—
20年3月期第3四半期	9,821	11.5	661	9.5	688	3.4	395	△22.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	61.38	—
20年3月期第3四半期	83.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	12,178	7,229	59.4	1,195.68
20年3月期	12,155	6,138	50.5	1,288.95

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,229百万円 20年3月期 6,138百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	18.00	18.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	△6.2	510	△42.2	540	△40.9	260	△50.3	43.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 6,091,000株 20年3月期 4,806,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 44,814株 20年3月期 43,614株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,346,099株 20年3月期第3四半期 4,762,819株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。
 2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

※定性的情報における「前年同期比増減率」につきましては、参考として記載しております。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発のサブプライム住宅ローンに端を発した世界的な金融危機の深刻化及び実体経済の急速な収縮により、景気は期後半にかけて急激に後退してまいりました。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線の主要需要家である自動車・建設機械・各種産業機械業界におきましても、企業の設備投資の減衰や個人消費の落ち込みにより経営環境の厳しさが一段と増してきました。

このような経営環境下、きめ細かな営業活動に加え新規取引先の開拓を展開するとともに、生産性の向上や経費削減等コスト競争力の強化に一層努めてまいりましたが、期後半は自動車業界において生産調整・在庫調整が急速に進み厳しい環境下で推移いたしました。

以上の結果、販売数量は70,921トン（前年同四半期比10.3%減）となりましたが、売上高は製品価格の値上げ効果により10,290百万円（前年同四半期比4.8%増）と増収となりました。

損益につきましては、生産減によりコストが上昇し売上原価を押上げたため営業利益は605百万円（前年同四半期比8.5%減）、経常利益は629百万円（前年同四半期比8.1%減）、四半期純利益は328百万円（前年同四半期比17.0%減）となり減益となりました。

当第3四半期累計期間に実施した設備投資の総額は759百万円で、その主なものは、営業用倉庫の土地の購入、本社工場のピーリング設備の増設、八尾工場の連続抽伸機付帯設備の改造及び連結子会社である㈱サンユウ九州の土地の購入であります。これらの資金は全て自己資金にて賄いました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は12,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が657百万円、販売数量の減少により受取手形及び売掛金が487百万円、株価の下落により投資有価証券が216百万円、それぞれ減少いたしました。製品・商品在庫及び原材料在庫の積上がりにより棚卸資産が886百万円増加したこと及び設備投資により有形固定資産が476百万円増加したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は4,948百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,068百万円減少いたしました。これは主に、支払手形（設備関係含む）及び買掛金が371百万円、未払法人税等が118百万円、それぞれ減少したことや有利子負債削減のため短期借入金を350百万円返済したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は7,229百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,090百万円増加いたしました。これは主に、株価の下落によりその他有価証券評価差額金が121百万円減少いたしました。平成20年8月に実施した第三者割当増資により資本金及び資本剰余金が970百万円増加したことや利益剰余金が242百万円増加したためであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、475百万円となり、前連結会計年度末に比べ657百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は268百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を579百万円計上したことや売上債権が487百万円減少したことなどにより資金を得ましたが、棚卸資産が886百万円増加したことや仕入債務が349百万円減少したこと並びに法人税等の支払額により資金を使用したためであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は814百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得に806百万円の資金を使用したためであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果調達した資金は425百万円となりました。これは主に、短期借入金を350百万円返済いたしましたでしたが、株式の発行により965百万円の収入があったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年11月5日付当社「平成21年3月期 第2四半期決算短信」にて発表しました平成21年3月期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当予想に関する詳細は、平成21年2月4日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(追加情報)

- ① 重要な減価償却資産の減価償却の方法

法人税法の改正により、当社グループの機械装置の耐用年数は従来の11年から14年に変更されました。これを機に使用状況の調査を行った結果、耐用年数14年が実態をより適切に反映していると認められたため、当第1四半期連結会計期間より当社グループの機械装置の耐用年数を14年に変更しております。

これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、23,465千円増加しております。

- ② 役員退職慰労引当金

平成20年6月27日開催の定時株主総会において、役員に対する退職慰労金制度の廃止及び同日までの在任期間に対する退職慰労金を、各取締役それぞれの退任の際に支給することを決議いたしました。

これに伴い、退職慰労金相当額114,330千円を「長期末払金」として固定負債に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	475,246	1,132,951
受取手形及び売掛金	4,321,323	4,809,145
商品	529,560	426,405
製品	1,041,296	720,516
原材料	1,166,125	706,026
繰延税金資産	45,899	87,710
その他	368,586	311,242
貸倒引当金	△10,481	△10,242
流動資産合計	7,937,557	8,183,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	955,472	931,697
機械装置及び運搬具（純額）	1,434,654	1,026,932
土地	871,018	725,728
その他（純額）	262,808	363,108
有形固定資産合計	3,523,953	3,047,468
無形固定資産	54,903	57,074
投資その他の資産		
投資有価証券	546,704	763,485
長期貸付金	87,777	60,966
その他	44,241	54,217
貸倒引当金	△16,925	△11,315
投資その他の資産合計	661,798	867,352
固定資産合計	4,240,655	3,971,895
資産合計	12,178,212	12,155,651
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,791,701	4,102,405
短期借入金	49,592	400,000
1年内返済予定の長期借入金	96,600	132,781
未払法人税等	47,500	165,590
賞与引当金	50,000	135,980
役員賞与引当金	—	14,440
設備関係支払手形	93,310	154,576
その他	284,406	277,148
流動負債合計	4,413,110	5,382,921

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	58,400	126,800
繰延税金負債	—	110,615
退職給付引当金	363,069	310,012
役員退職慰労引当金	—	86,832
長期未払金	114,330	—
固定負債合計	535,799	634,259
負債合計	4,948,910	6,017,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,028,600
資本剰余金	1,317,207	832,120
利益剰余金	4,344,076	4,101,654
自己株式	△20,769	△20,160
株主資本合計	7,154,201	5,942,213
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	75,100	196,256
評価・換算差額等合計	75,100	196,256
純資産合計	7,229,302	6,138,469
負債純資産合計	12,178,212	12,155,651

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	10,290,441
売上原価	8,788,151
売上総利益	1,502,290
販売費及び一般管理費	
運搬費	290,502
給料及び手当	167,949
賞与引当金繰入額	16,900
退職給付費用	35,277
役員退職慰労引当金繰入額	3,596
貸倒引当金繰入額	5,848
減価償却費	21,260
その他	355,516
販売費及び一般管理費合計	896,849
営業利益	605,440
営業外収益	
受取利息	1,416
受取配当金	14,791
鉄屑売却収入	4,937
その他	14,092
営業外収益合計	35,237
営業外費用	
支払利息	3,384
売上割引	2,249
株式交付費	4,306
その他	1,664
営業外費用合計	11,604
経常利益	629,073
特別利益	
固定資産売却益	86
投資有価証券売却益	6,100
特別利益合計	6,186
特別損失	
固定資産除却損	14,905
固定資産売却損	26
投資有価証券評価損	16,597
役員退職慰労金	24,702
特別損失合計	56,231
税金等調整前四半期純利益	579,028
法人税、住民税及び事業税	239,563
法人税等調整額	11,319
法人税等合計	250,883
四半期純利益	328,145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	579,028
減価償却費	270,170
投資有価証券評価損益 (△は益)	16,597
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	53,056
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△86,832
受取利息及び受取配当金	△16,207
支払利息	3,384
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,100
売上債権の増減額 (△は増加)	487,822
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△886,130
仕入債務の増減額 (△は減少)	△349,220
長期未払金の増減額 (△は減少)	114,330
その他の負債の増減額 (△は減少)	△68,630
その他	△38,228
小計	73,039
利息及び配当金の受取額	17,486
利息の支払額	△3,063
法人税等の支払額	△356,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	△268,690
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△806,554
有形固定資産の売却による収入	238
投資有価証券の取得による支出	△29
投資有価証券の売却による収入	18,600
無形固定資産の取得による支出	△18,709
貸付けによる支出	△45,720
貸付金の回収による収入	37,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	△814,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△350,407
長期借入金の返済による支出	△104,581
株式の発行による収入	965,868
自己株式の取得による支出	△609
配当金の支払額	△84,977
財務活動によるキャッシュ・フロー	425,292
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△657,704
現金及び現金同等物の期首残高	1,132,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	475,246

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年12月31日）

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線の単一事業であるため、事業の種類別セグメント情報は省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年12月31日）

本邦以外の国または地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年８月29日付で、新日本製鐵株式會社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第２四半期連結会計期間において資本金が485百万円、資本準備金が485百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が1,513百万円、資本準備金が1,317百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
科目	金額(千円)
I 売上高	9,821,625
II 売上原価	8,305,437
売上総利益	1,516,187
III 販売費及び一般管理費	854,866
営業利益	661,321
IV 営業外収益	37,401
V 営業外費用	10,428
経常利益	688,294
VI 特別利益	853
VII 特別損失	986
税金等調整前四半期純利益	688,161
法人税、住民税及び事業税	272,975
法人税等調整額	19,818
四半期純利益	395,367

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	688,161
減価償却費	239,860
退職給付引当金の減少額	△4,415
役員退職給与引当金の増加額	10,788
受取利息及び受取配当金	△16,472
支払利息	7,182
固定資産売却益	△75
売上債権の減少額	12,924
たな卸資産の減少額	133,619
仕入債務の減少額	△242,596
その他債務の減少額	△31,895
その他	△14,628
小計	782,453
利息及び配当金の受取額	17,074
利息の支払額	△7,013
法人税等の支払額	△685,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,862
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の解約による収入	50,000
有形固定資産の取得による支出	△646,277
無形固定資産の取得による支出	△3,600
有形固定資産の売却による収入	849
投資有価証券の取得による支出	△29
貸付けによる支出	△5,978
貸付金の回収による収入	7,171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△597,865
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	200,000
長期借入金の返済による支出	△124,603
自己株式の取得による支出	△450
配当金の支払額	△71,935
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,011
IV 現金及び現金同等物の減少額	△487,991
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,365,123
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	877,132

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線の単一事業であるため、事業の種類別セグメント情報は省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

本邦以外の国または地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。